ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

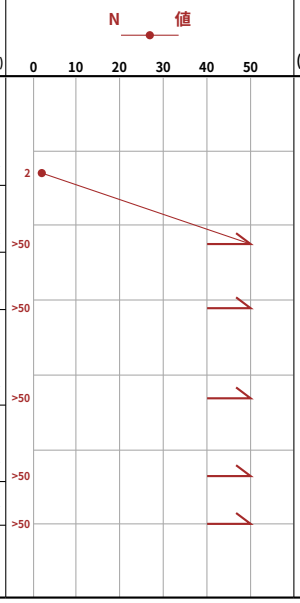
シートNO.

ボーリング名	BV-1	調査位置				北　緯	36 ° 48 ' 53.2400 "
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2010-02-06 ～ 2010-02-10	東　経	139 ° 35 ' 19.1200 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	118.08 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 32.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具	
総掘進長	6.02 m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	117.78	0.30	0.30		表土 (SF)	暗褐		軟らかい	有機質土 含水比・粘性中位		
1	115.98	1.80	2.10		火山灰質粘性土 (V)	茶褐		軟らかい	深度1.00m付近まで植物根多い 含水比・粘性中位 少量の軽石粒混入		
2	115.38	0.60	2.70		火山砕屑物 (Vc)	茶褐	密な		火山灰質砂礫 コア長100mm程度の粗石混入 全体的に火山灰多く固結度低い		
3	112.06	3.32	6.02		風化安山岩 (An)	暗紫灰			第四紀更新世の安山岩 コアは主に棒状コアで採取 100～400mm間隔でクラック見られる 深度3.00～3.10m間礫状呈す 深度4.10～4.40m間礫状呈す 深度5.30～5.60m間礫状呈す クラック面に少量の粘土分付着 岩質は比較的新鮮で硬い		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／18	1／13		2／31	2
1.46					
2.15	18	32		50／20	>50
2.35					
3.11	50／1			50／1	>50
3.12					
4.24	12	38／6		50／16	>50
4.40					
5.30	30	20／2		50／12	>50
5.42					
6.00	50／2			50／2	>50
6.02					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/06
						02/08
						02/09
						02/10